



市史だより

第 291 号

令和 5 年 6 月 1 日

小松市史担当



図書館のある芦城公園は、桜から藤、さらに躑躅(ツツジ)、菖蒲と春の季節は花真っ盛りですが、小松運動公園にあるバラ園、通称 V ロードには、赤やピンクなど色とりどりに咲き誇るバラが見頃を迎えています。このバラ園は、当市とベルギーのビルボード市の姉妹都市提携 40 周年を記念して、平成 26 年(2014)に開園しました。広さ 2557 m²の園内には、71 種類、およそ 1400 本のバラが栽培され、車で前を通り過ぎるだけでも、その見事に驚くばかりです。フォトアングルには絶好の場所です。ポートレート写真を撮ってみましょう!!

今年は初夏の訪れが早そうですが、花の一番美しいこの季節に、小松の花の名所にぜひお出掛けください。

『新修 小松市史 通史編 I』見どころ



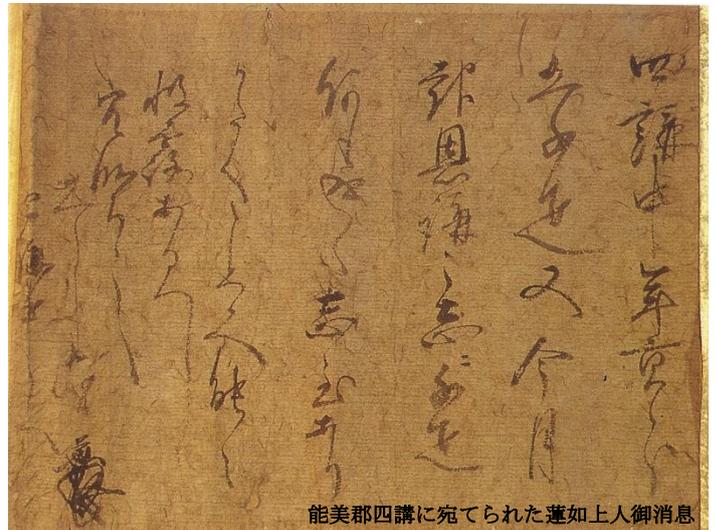
加賀惣社とされる石部神社(古府町)

中世編を紹介する。この市史では、中世の時代区分は平安期の終わりの 11 世紀から戦国期の 16 世紀を対象とする。中世は武家政権の時代だが、南加賀は、京(朝廷)王権の支配も強く、知行国司となって、国衙(コカ)経営に携わり、行政を支配していた。

では、この地方行政を掌る国衙はどこに置かれていたか。国府が小松にあったから国衙の中心も小松にあったと逆に国府小松説を裏付けている。しかも鎌倉末期頃まで小松の地で機能していたとする。

その後、富樫氏が守護(幕府が任命)に起用されると、加賀国の拠点野々市に置かれ、富樫氏の一国守護時代となる。ところが室町期に入ると、富樫氏に内紛があり、加賀国の守護は河北・石川郡と能美・江沼郡とで 2 分割され、半国守護が置かれた。能美・江沼郡は南半国守護の支配にあり、その中心地は、国衙のあった小松に当然置かれたであろう。後に、守護が実務を執れなくなると、代わりに守護代を置き、南加賀は小松の土着武士本折氏が起用され、頭角を現して来ることになる。

一方、鎌倉期には新しく生まれた仏教が全国に広がり、加賀国は蓮如の布教により浄土真宗が広まった。遂には



能美郡四講に宛てられた蓮如上人御消息

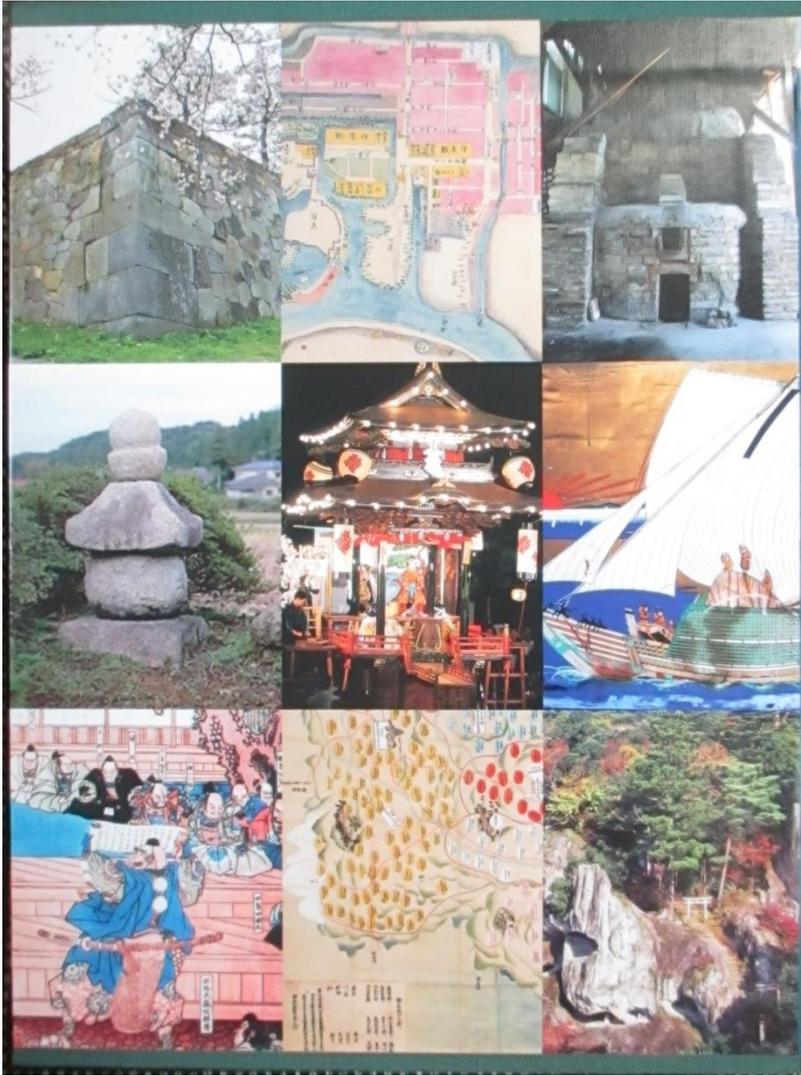
一揆によって、真宗門徒が加賀国の指導権を握った。しかし、内紛があり、能美郡門徒は本願寺(京都)とのつながりを深め、能美郡四講(写真上)を組織した。一方越前の朝倉氏が能美・江沼郡に攻め込んで、しばしば一向一揆方と争い戦場となった。そのいきさつの詳細が興味深く述べられる。

これまでの中世史は、文献史学の研究成果をもとに述べるが多かったが、この『通史編』では、市域の荘園の発掘調査が進んだことから、考古学の面からも取り上げ、新しい世界観を紹介する(写真左)。



中世の道路遺構(大領遺跡)

『新修 小松市史 通史編 I』 アピール画像



『新修 小松市史 通史編』の箱表紙はこれまで発刊された『資料編』18巻の箱表紙やチラシ、口絵等を飾った、その巻をアピールする資料で構成されています。

さて、読者の皆さんは、この画像がどの巻の、どの場所で掲載されたか、またどのような資料だったのか、お分かりになるでしょうか。

まずは『通史編 I』の表表紙から、次号には、裏表紙をご紹介します。(左上から右へ紹介)

小松城跡 『1 小松城』

小松高等学校のグラウンドに現存する石垣

小松城及び城下之図 『2 小松町と安宅町』

測量家石黒信由を顕彰する(財)高樹会蔵絵図

連房式登窯 『3 九谷焼と小松瓦』

石川県内で唯一現存する加賀八幡にある登窯

牧姫塚五輪塔 『4 国府と荘園』

牧口町の中世墓から出土した花崗岩製五輪塔

龍助町曳山 『5 曳山』

現存 8 基の中で二重屋根で豪華な龍助町曳山

船絵馬 『6 水運』

北前船で交流のあった青森県鮭ヶ沢町の絵馬

加賀国安宅新関勸進帳之図 『7 文芸』

安宅住吉神社蔵の歌川国芳画の勸進帳絵図

越前国絵図 『8 幕領』

越前藩作成の絵図で須納谷村・丸山村が掲載

那谷寺奇岩遊仙境 『9 寺社』

松尾芭蕉が書き留めた「おくのほそ道風景地」

『新修 小松市史 通史編 I』

仕様：B5版 上製本 布装丁 貼ケース入り 本文 943 頁
 価格：5,400 円(税込) (12 月まで特別価格)
 販売所：市史担当事務局・うつのみや城南店・明文堂書店

<6月のカレンダー> 開室時間 10:00~17:00(火~金)/9:00~17:00(土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
5/28	5/29	5/30	5/31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	7/1

* は市史担当の事務局は閉室しています。

小松市史担当 (小松市立図書館 2 階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

